

⑨ 日本国特許庁(JP) ⑩ 特許出願公開
 ⑪ 公開特許公報(A) 昭62-107620

⑫ Int. Cl.⁴ 識別記号 庁内整理番号 ⑬ 公開 昭和62年(1987)5月19日
 H 02 G 3/18 7185-5E
 H 01 R 13/46 303 D-8623-5E
 審査請求 未請求 発明の数 1 (全17頁)

⑭ 発明の名称 フロアコンセント

⑮ 特 願 昭60-246871

⑯ 出 願 昭60(1985)11月1日

⑰ 発 明 者 森 本 征 久 門真市大字門真1048番地 松下電工株式会社内
 ⑱ 発 明 者 古 藤 健 二 門真市大字門真1048番地 松下電工株式会社内
 ⑲ 出 願 人 松下電工株式会社 門真市大字門真1048番地
 ⑳ 代 理 人 弁理士 石田 長七

明 細 書

1. 発明の名称

フロアコンセント

2. 発明の概要

(i) 床面上に露出して配設されるフロアコンセントであって、床に固定される器具本体と、プラグが挿脱可能なコンセントユニットを備え器具本体に着脱自在に装着される取付プレートとを具備して成ることを特徴とするフロアコンセント。

3. 発明の発明の概要

〔技術分野〕

本発明はフロアコンセント、さらに詳しくは、主としてフリーアクセスフロアの床面上に露出して配設されるフロアコンセントに関するものである。

〔背景技術〕

一般にこの種の露出型のフロアコンセントにおいては、第33図に示すように、プラグが挿脱されるコンセントユニット33'が床に固定される器具本体30'に一体に設けられているものであって、施工時には器具本体30'内に設けら

れたコンセントユニット33'の端子部に対して絶縁を行なう必要があり、狭い場所での結線作業を行なう必要があるから、結線作業が面倒である。また、フリーアクセスフロアでは電源線以外に電話線やコンピュータのケーブルを伝送する信号線等のケーブルが配線されており、これらの各種ケーブルに対応して異なる種類のコンセントユニット33'を備えたフロアコンセントが必要となるものであるが、器具本体30'とコンセントユニット33'とが一体化されているものであるから、異なる種類のフロアコンセントを作成する場合にはフロアコンセント全体の設計変更が必要となり、製品の種類の拡大が容易に行えないという問題がある。

〔発明の目的〕

本発明は上述の点に鑑みて為されたものであって、その主な目的とするところは、コンセントユニットを備えた取付プレートを床に固定される器具本体に対して着脱自在とすることにより、施工時に器具本体からコンセントユニットを分離して

特開昭62-107620 (2)

接続作業を容易に行なえるようにしたフロアコンセントを提供することにより、他の目的とするところは、コンセントユニットを挿え取付プレートを器具本体に固定自在に設置することにより、取付プレートのみを交換すれば異種のケーブルに対応させることができるようにし、部品の共用化により製品の品種類数が容易に行なえるようにしたフロアコンセントを提供することにある。

【発明の開示】

（構成）

本発明は、床面に露出して配設されるフロアコンセントであって、床に固定される器具本体と、プラグが接続可能なコンセントユニットを備え器具本体に着脱自在に装着される取付プレートとを具備して成ることを特徴とするものである。

（実施例）

第6図に示すように、基礎床1上に複数の支持体2が配設され、モジュール化された平板状の床パネル3が複数の支持体2上に跨る形で敷設されることにより基礎床1と床パネル3との間に配

ケーブル4の種類に応じてコンセントユニットを備えている。すなわち、コンセント10としては、搬送するように単一種類のコンセントユニットを備えたものや複数種類のコンセントユニットを組み合わせて備えたものが用意される。ケーブル4は通所でジョイント器具11を介して接続されており、電線4a用のジョイント器具11としては第9図(a)に示すような電線分岐器11aが用いられ、信号線4b用としては第9図(c)に示すような信号分岐器11b、電話線4c用としては第9図(b)に示すような電話分岐器11cあるいはコンセント10に内蔵された電話線中継器11dが用いられる。ここで電線4aは2分岐、他のケーブル4は2分岐としているが、これに限定されるものでない。コンセント10は必要に応じて送り配線用の端子が設けられたものが用いられ、他のコンセント10への送り配線が行なわれる。すなわち、この種のコンセント10もジョイント器具11として作用する。電話線4cの引き込み部分には電線交換機9が設けられる。支持体2と

配線スペース5を有したフリーアクセスフロアが形成される。支持体2は1型に形成されており、床パネル3の4隅に対応して配設される。基礎床1と床パネル3との間の配線スペース5では支持体2以外の部分がすべてケーブル4の通り道として利用できるようになっている。つまり、床パネル3の下側の大部分がケーブル4の通り道に利用できるのである。床パネル3と壁面0との間に形成される隅部には幅木7が配設される。ケーブル4としては、電線4a、信号線4b、電話線4c等があり、互いに異なる種類のケーブル4同士が混触しないように、異種のケーブル4の交差部分においてはケーブル4同士を立体的に交差させるセパレータ8が設けられている。床パネル3の通所にはそれぞれ必要に応じて適当量のフロアコンセント10a、ボール型コンセント10b等が設けられ、壁面0には壁コンセント10c、幅木7には幅木コンセント10dが必要に応じて設けられる。これらのコンセント10にはそれぞれケーブル4が接続され、各コンセント10はそれぞれ対応する

しては上述のようにそれぞれ独立して配設されるものの他、1枚の床パネル3に対応した大きさにモジュール化されたシートに床パネル3の4隅に対応する位置でそれぞれ支柱が一体に立設されたものを用いることもでき、このように複数の支柱が一体に結合された支持体2または床パネル3と同様に単位モジュールを順次配設すれば、フリーアクセスフロアを容易に構成できるものである。

壁コンセント10cは、壁内にケーブル4が配線された既設のコンセントの他に、フリーアクセスフロアの配線スペース5を通して暗線されたケーブル4に接続されるものがあり、この種の壁コンセント10cは第7図に示すように、器具本体12が壁面0から突出した形で取り付けられている。器具本体12に接続されるケーブル4は、床パネル3と器具本体12との間で壁面0に沿って配設された配線ダクト13内に収められる。したがって、壁コンセント10cの設置位置の変更や増設にあたっては、壁コンセント10cを壁面0に取り付けるとともに、基礎床1と床パネル3と

特開昭62-107620 (3)

の間の配線スペース5を通過して配線されたケーブル4を壁コンセント10cに接続し、壁面6におけるケーブル4の露出部分を配線ダクト13で覆えばよいのである。壁コンセント10cとしては、電源線4a、信号線4b、電話線4c等のうちの1種類のケーブル4のみが接続される単一種類のコンセントユニットを備えたものか、それらのコンセントユニットが複合された組み合わせコンセントがあり、組み合わせコンセントの場合には、各コンセントユニットの種類に応じて壁コンセント10c内がセパレータ14で仕切られる。また、このような壁コンセント10cに用いられる配線ダクト13内もセパレータ15により仕切られる。セパレータ14、15を設けることにより異種ケーブル4間を分離して混触を避けることができるのである。壁コンセント10cのコンセントユニットには、電源線使用、コンピュータ等のデータ信号用、テレビのアンテナターミナル、電話線使用等があり、データ信号用としては、第8図(a)に示すようなRS232C規格やRS422規格

セパレータ21により仕切られた配線スペース20a、20bに対応してそれぞれ異なるコンセントユニットが設けられている。つまり、幅木コンセント10dにおいて壁面6に近い部分には電源用コンセントユニット22aが設けられ、壁面6から離れた部分には電話用コンセントユニット22bが設けられる。幅木コンセント10dは送り継ぎを備えており、配線スペース20内で幅木コンセント10d同士の送り配線を行なうことにより、幅木コンセント10dが増設できるようになっている。すなわち、幅木7は床パネル3と同様にモジュール化されているから、幅木コンセント10dの位置変更や増設、あるいは廃止等の施工を行なう際には、対応する箇所の幅木7を取り替え、適宜送り配線を行なえばよいものであり、仕様の変更柔軟に対応できるものである。

床パネル3には図8a型のフロアコンセント10a、ボール型コンセント10b、突出型のフロアコンセント10c、あるいは回転式のラインコンセント10fが設けられる。

に対応したコンセントユニット16a、同図(b)に示すような丸型ピンプラグに対応したコンセントユニット16bなどを有する。

床パネル3と壁面6との間に形成された隙部には床パネル3の一边の長さと同じ長さをもした幅木7が配設され、この幅木7を壁面6と床パネル3との間の隙部に沿って配設することにより、隙部が全長に亘って幅木7で覆われる。幅木7は第10図に示すように、床パネル3に対して傾いた形で配設され、床パネル3と壁面6と幅木7とに囲まれた部分に配線スペース20が形成される。配線スペース20は幅木7の内側面において上下方向に延設されたセパレータ21によって仕切られており、壁面6に近い方の配線スペース20aには電源線4aが配線され、壁面6から離れた方の配線スペース20bには電話線4cが配線されている。このようにセパレータ21を設けていることにより、異種ケーブル4間の混触が防止されるのである。幅木7の裏面には幅木コンセント10dが設けられており、幅木コンセント10dにはセ

ボール型コンセント10bは、床パネル3上に立設されるものであって、机の背面などに設けられる。ボール型コンセント10bとしては、第11図に示すように高さが一定のもの、および第12図に示すように上下に伸縮自在となったものがあり、それぞれ複数のコンセントユニットを備えている。すなわち、第11図(a)に示すものは床パネル3に立設された支柱25の上端部の片面に電源用のコンセントユニット26aが2個口設けられたものであり、図(b)は支柱25の上端部の片面に電源用のコンセントユニット26aが2個口と電話用のコンセントユニット26bが2個口設けられたもの、同図(c)は支柱25の上端部の片面に電源用のコンセントユニット26aが2個口と電話用のコンセントユニット26bが1個口とアンテナターミナルである信号用コンセントユニット26cが1個口設けられていたものである。また、同図(c)においては支柱25の下端部内に電源線4aに介装されるノイズフィルタ27が収納されている。このようにノイズフィルタ2

特開昭62-107620 (4)

7をボール型コンセント10b内に一体に収納していることにより、コンセントユニット26aに接続されるコンピュータ等の機器からの雑音や電磁波4aで伝送されることが防止されるのである。第5図に示すボール型コンセント10bは支柱25の中央部に上下に伸縮自在となった蛇腹体28を備えたものであって、蛇腹体28の上方で支柱25にコンセントユニットが形成されたものである。すなわち、蛇の首に合わせて支柱25を伸縮させることにより、コンセントユニットを所望の高さ位置に設定できるようにしているのである。このボール型コンセント10bの支柱25の上部には電器用コンセントユニット26aが2個口設けられている。上述の実施例におけるコンセントユニットの組み合わせは一例であって、必要に応じて他種の組み合わせが用いられるのは勿論のことである。

薄出型のフロアコンセント10aは第1図に示すように、上方に開放された略コ字形の器具本体30と、器具本体30の上面を覆うカバーブレー

ク31の両側片の上部内周面には各取付プレート32に対応して各一对の固定片38が形成され、固定片38の先端部にはねじ孔37が形成されている。取付プレート32には係合溝35に対応して係合爪38が下方に突設され、また取付プレート32の上部表面には固定片38に対応して取付片39が突設される。しかし、取付プレート32の係合爪38を器具本体30の係合溝35に係合させるとともに、取付プレート32の周部表面を器具本体30の段部34に当接させれば、器具本体30内周面に突設された固定片38と取付片39とが上下に重畳するのである。この状態で上方から取付片39の先端部に形成された挿通孔40を通して固定片38のねじ孔37に固定ねじ41を挿入すれば、取付プレート32が器具本体30に固定されるのである。カバープレート31は下方に開放された筒状に形成されており、器具本体30の上面に被着され、適宜方法で器具本体1に固定される。器具本体30の下面からは、第10図に示すように、固定筒42が延設されてお

り、器具本体30の側面を覆う取付プレート32と、取付プレート32に取り付けられ各ケーブル4に対応するコンセントユニット33とから構成される。取付プレート32は各種コンセントユニット33に応じて用意され、第2図(a)に示すように電器用のレセプタクル33aを備えたもの、同図(b)のように電話用のモジュージャック33bを備えたもの、同図(c)のようにテレビ用のアンテナターミナル33cを備えたものなどが形成される。取付プレート32は上述のように、器具本体30の側面面に装着されるのであって、1つの器具本体1に同種のコンセントユニット33を備えた一对の取付プレート32、または異種のコンセントユニット33を備えた一对の取付プレート32を装着することにより、目的に応じたフロアコンセント10aを構成することができる。器具本体30の側面開口周縁には取付プレート32の裏面と係止する段部34が形成され、器具本体30の底面において段部34に対応する部分には一对の係合溝35が形成される。また、器具本

体30の両側片の上部内周面には各取付プレート32に対応して各一对の固定片38が形成され、固定片38の先端部にはねじ孔37が形成されている。取付プレート32には係合溝35に対応して係合爪38が下方に突設され、また取付プレート32の上部表面には固定片38に対応して取付片39が突設される。しかし、取付プレート32の係合爪38を器具本体30の係合溝35に係合させるとともに、取付プレート32の周部表面を器具本体30の段部34に当接させれば、器具本体30内周面に突設された固定片38と取付片39とが上下に重畳するのである。この状態で上方から取付片39の先端部に形成された挿通孔40を通して固定片38のねじ孔37に固定ねじ41を挿入すれば、取付プレート32が器具本体30に固定されるのである。カバープレート31は下方に開放された筒状に形成されており、器具本体30の上面に被着され、適宜方法で器具本体1に固定される。器具本体30の下面からは、第10図に示すように、固定筒42が延設されてお

り、器具本体30の両側片にはそれぞれ保持溝46を介して上下方向に走る一对の保持リブ47が突設されており、第4図に示すように、器具本体30内を2室に仕切る平板状のセパレータ48の周部を器具本体30の側面片に形成された保持溝46に嵌着してセパレータ48を器具本体30内に固定できるようにしている。このようなセパレータ48を嵌着することにより、第5図に示すように、各コンセントユニット33に接続されるケーブル4同士の混触が防止されるのである。

特開昭62-107620 (5)

回転式のラインコンセント10は、第12図に示すように、床パネル3の一角に固定された固定プレート17から回転アーム18が床パネル3に沿う方向に延設され、回転アーム18が固定プレート17に設けられた支軸の回りで回転自在となったものであって、回転アーム18の先端部には床パネル3に接続するロータ19が設けられている。回転アーム18内には複数のコンセントユニット29が配設されており、コンセントユニット29の差し込み部が回転アーム18の上面に露出している。回転アーム18内のコンセントユニット29としては電源用、信号用、電熱用等各種のものが必要に応じて複合して設けられる。

廻込型のフロアコンセント10は以下のよう構成される。第15図は廻込型のフロアコンセント10の分解斜視図を示すものであり、床パネル3の所定の位置に穿設された開口部3aを介してフロアコンセント10が床パネル3内に配設されるものである。フロアコンセント10は床パネル3内に配設されるボディ51と、床パネ

ル3の上面と略一面に配設されるカバー54とから構成されている。ボディ51は上面が開口された箱状に形成されており、ボディ51の上面開口部3aの周縁上面に配設するためのフランジ51aが一体に下方へ突出形成してある。ボディ51内の一側部には矩形状のコンセントユニット52が配設してあり、このコンセントユニット52の一面にプラグの差し込み部が挿入される2つの差し込み部52aが設けられている。また、コンセントユニット52の両側には回転軸が配設されており、この回転軸がボディ51の内壁面に軸支されて、差し込み部52aが側面乃至上面に向くようにコンセントユニット52が回転自在に配設されている。

ボディ51内の略中央の底部には基座部1の上面に配設されているケーブル4と接続される端子部56が配設される。この端子部56の後端部に対応してボディ51の側壁に凹部58が形成されており、この凹部58内にケーブル4を挿入してその導体を凹部58内に露出している接続部に接続するようにしている。また、この端子部56は送り配線が可能であり、送り配線用の接続部が形成してある。尚、第15図に示す実施例ではケーブル4を横方向から差し込むようにしているが、図中の二点鎖線のように縦方向から差し込むようにしても良い。コンセントユニット52と端子部56とはコンセントユニット52が回転するために可撓性の電線62により接続している。そして、コンセントユニット52と端子部56との間はプラグが収納される空間57としている。フリーアクセスフロアに配設されるケーブル4は、電源線、情報信号のデータが送られる信号線、電話線、TV信号が送られる信号線等があり、これら用途に応じてコンセントユニット52と端子部56が設けられており、その用途に応じて取り替える可能としている。フランジ51aの両側には皿状の取付ねじ59が挿通する挿通孔が穿孔されており、またこの挿通孔の側面にし字型の係止穴60が天々穿孔されている。ボディ51を床パネル3に取付固定するはさみ固定金具61は第15図及

び第19図に示すように、平板状に形成され、その両側を上方へ折り返した上端縁を凹状に形成し、更に、両側端部より上方へ突出するし型片61aを突々形成している。このし型片61aを突々フランジ51aの係止穴60に挿入して係止し、はさみ固定金具61をフランジ51aに係保持するようにしている。しかし、ボディ51の床パネル3への取付は、はさみ固定金具61をボディ51の側面がわに寄せて開口部3aに上から挿入し、次いで取付ねじ59を挿通孔を介してはさみ固定金具61のねじ孔に螺着して螺着していけば、はさみ固定金具61が上方へ移動し、第19図に示すように、はさみ固定金具61の凹部部分が床パネル3の開口部3aの周縁下面に食い込み、このはさみ固定金具61とフランジ51aとで床パネル3の開口部3a周縁を挟持することでボディ51が床パネル3に取付固定されることになる。

ボディ51の上面の開口部に覆設されるカバー54は、第15図に示すように箱状に形成されており、カバー54の開口部の周縁部分は一段凹ん

る3の上面と略一面に配設されるカバー54とから構成されている。ボディ51は上面が開口された箱状に形成されており、ボディ51の上面開口部3aの周縁上面に配設するためのフランジ51aが一体に下方へ突出形成してある。ボディ51内の一側部には矩形状のコンセントユニット52が配設してあり、このコンセントユニット52の一面にプラグの差し込み部が挿入される2つの差し込み部52aが設けられている。また、コンセントユニット52の両側には回転軸が配設されており、この回転軸がボディ51の内壁面に軸支されて、差し込み部52aが側面乃至上面に向くようにコンセントユニット52が回転自在に配設されている。

特開昭62-107620 (8)

ねじ部54aが形成してある。このねじ部54aにねじ穴が穿孔されていて、該カバー54をボディ51に取り付けるための取付ねじ63が挿通されて、ボディ51のフランジ51aに設けられたねじ孔64に夫々螺着することにより、カバー54がボディ51に取り付けられることになる。カバー54の開口部は扉体55によって閉塞される。この扉体55は単にねじ部54aの上面に設置しても良く、また、扉体55の端部に肋を突設し、この肋をカバー54に穿孔して軸穴に挿入して、扉体55を回動自在に軸支するようにしても良い。そして、扉体55はねじ部54aの上面に設置されることで、カバー54の開口部は閉塞されるものである。このように、ボディ51にカバー54を取り付けるようにして、所謂ボディ51とカバー54とを分離型としていることで、床面とフロアコンセント10aの色調が合わない場合など、カバー54のみを簡単に取り替えることができるため、床面と違和感なく取り付けることができるものである。

ネリし、また、コード67に足を引っ掛けでもコンセントユニット52に直接力が加わらず、コンセントユニット52の絶縁体の破損、及びプラグの抜きの防止を図ることができるものである。また、コード止め部65の内側の面には第22図に示すように、金属片からなる引掛部71が形成してあり、この引掛部71は断面を略く字型に形成してコード止め部65の側面に取着してあり第23図に示すように扉体55のコード止め部65の逃げ用に形成した切欠部55aの端縁を引っ掛け係止するようにしている。また、引掛部71は単に三角形状の突舌としても良い。

第24図はコード止め部65を扉体55に一体に形成したものであり、コード止め部65の挿通孔65aにねじ66を挿通してカバー54のねじ孔68に螺着することで、扉体55をカバー54の固定するようにしている。この場合、カバー54の上面にコード67が位置する部分に凹部72が形成してあり、この凹部72にコード67を置いて扉体55を閉じることによりコード止め部6

カバー54の上面の所定の位置にはプラグのコードを押さえてコードの弾力を除去するコード止め部65がねじ66により取着されている。すなわち、このコード止めの部65は第20図及び第21図に示すように、カバー54の上面に螺設されたねじ孔68にコード止め部65の挿通孔65aを介してねじ66を螺着することでカバー54に固定されるものである。コード止め部65は断面略く字型に形成されており、この実施例ではコンセントユニット52の差し込み部52aが2つ形成されていることと対応して、2本のコード67を挿通させるための下面が開口した挿通孔69が夫々平行に形成されている。挿通孔69の一方は外側に開口し、他方はボディ51内がわに開口している。挿通孔69の内周面にはコード67押さえ用のリブ70が一体に形成されており、このリブ70により第21図に示すようにコード67の後面を押さえ付けて、コード67を固定している。従って、フロアコンセント10aからはコード67のみが出るのみで、床パネル3上の配線がスッ

5の下面によりコード67を押さえ付け、コード67を固定している。また、ねじ66で組み立てる他、コード止め部65の外周面に金属片からなる引掛部71を上記と同様に形成し、第25図に示すようにカバー54の内側面に係合凹部78を形成し、この係合凹部78に扉体55のコード止め部65の引掛部71を係合して、扉体55をカバー54に止めるようにしても良い。このように、コード止め部65を用いて扉体55をカバー54乃至ボディ51に止めるようにしているため、部品の構成が簡単で取り付け手間が少ないものである。

第26図は扉体55の上面に化粧プレート74配設した状態を示すものであり、扉体55の四隅に係止孔77を穿孔し、この係止孔77に挿入して係合するし字型の弾性を有する係合片75を一体に設置している。また、化粧プレート74の周端縁には取り外し用の切欠76が形成してある。この切欠76にドライバー等の先端を差し込み、化粧プレート74を外すものである。第27図は

特開昭62-107620 (7)

化粧プレート74の両側の端縁に夫々係合片75を側方へ一体に突起し、カバー54の内面にはこの係合片75が挿入される係止孔77を穿設したものである。化粧プレート74をたわませて係合片75をカバー54の係止孔77に挿入することで、化粧プレート74をカバー54に容易に取り付けることができる。従って、化粧プレート74をカバー54に容易に着脱できるので、化粧プレート74の取り替えが容易となり、床面との色調を簡単に合わせることができるとのである。

次に、フロアコンセント10aのコンセントユニット52にプラグ53を接続する場合について説明する。まず、第16図に示すように本体55をあけてコンセントユニット52の差し込み部52aが上面に向くように回転させる。プラグ53を差し込んだ後は、コンセントユニット52を元に戻させて第17図に示すようにプラグ53をボディ51の空間57内に収納する。プラグ53を空間57内に収納することにより、床面からの飛び出しを無くしている。そして、コード止め部

地付けの差し込み部52aを2つ形成したフロアコンセント10aの実施例を示し、第30図はコンセントユニット52にデータ用と電話用の差し込み部52aを形成したフロアコンセント10aの実施例を示している。第31図は電源と電話用のコンセントユニット52を夫々設けたフロアコンセント10aの実施例を示すものである。尚、第28図乃至第31図に示したフロアコンセント10aはカバー54及び本体55等を上記実施例とは少し異ならしめた例を示しているが、機能は同じである。また、第32図はコンセントユニット52にTV信号を受けるための差し込み部52aを設けたフロアコンセント10aの実施例を示している。

以上のように、フリーアクセスフロアの配線スペース5にケーブル4が配線されるとともに、そのケーブル4が床パネル3や壁面6や柱木8等に配線されたコンセント10に接続されるのであって、第14図に示すように、それらのコンセント10を利用して、コンピュータや電話機等のい

65によりコード67を押さえて固定し、第18図に示すように本体55を閉めて、カバー54の開口部を閉塞する。従って、プラグ53はフロアコンセント10aのボディ51内に収納されて、床面より飛び出さないため、美観上見栄えが良く、また、コード67のみが出るので、床面上の配線がスッキリすると共に、コード67は床面に沿って配線されるため、コード67を足に引っ掛けるという危険も少なくなるものである。また、コンセントユニット52を回転式としているために、プラグ53を差し込む際、差し込み部52aが上面になりプラグ53が差し込みやすくなるものであり、また、プラグ53を差し込んだ後、プラグ53をボディ51内に収納でき、床面からの飛び出しがなく、床面がスッキリして足に引っ掛ける危険もないものである。

第28図はコンセントユニット52に電源とデータあるいは電話用の差し込み部52aを設けたフロアコンセント10aの実施例を示し、第29図はコンセントユニット52に100V電圧で接

ゆるOA(オフィスオートノーション)機器23が接続されるのである。また、これらのOA機器23を設けた機24を配線等々するときには、床パネル3を外してケーブル4の配線を適宜変更してコンセント10の位置を変更すればよいのであり、上述したようにケーブル4の途中にケーブル4を着脱自在に接続するジョイント部11が設けられていることによりケーブル4の配線変更が容易に行なえるものであり、OA機器23の設置変更が容易に行なえるのである。

【発明の効果】

本発明は上述のように、床面に露出して配線されるフロアコンセントであって、床に固定される器具本体と、プラグが接続可能なコンセントユニットを器具本体に着脱自在に装着される取付プレートとを具備しているので、コンセントユニットを備えた取付プレートを床に固定される器具本体に対して着脱自在としたことにより、施工時に器具本体からコンセントユニットを分離して接続作業が容易に行なえるという利点を有する。また、

特開明62-107620 (8)

コンセントユニットを備えた取付プレートを器具本体に着脱自在に装着したことにより、取付プレートのみを交換すれば異種のケーブルに対応をすることができるとであり、部品の汎用化により製品の品種拡大が容易に行なえるという利点を有するものである。

4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明の一実施例を示す分解斜視図、第2図(a)(b)(c)はそれぞれ同上的取付プレートの一例を示す斜視図、第3図は同上の分解断面図、第4図は同上の他の構成例を示す分解斜視図、第5図は同上の断面図、第6図は本発明に係るフロアコンセントの一例を示す概略構成図、第7図は同上に使用する壁コンセントの一例を示す斜視図、第8図(a)(b)はそれぞれ同上に使用する壁コンセントにおけるコンセントユニットの一例を示す斜視図、第9図(a)(b)(c)はそれぞれ同上に使用するジョイント器具を示す斜視図、第10図は同上的における端部部分の断面図、第11図(a)(b)(c)はそれぞれ同上に使用するボール型コ

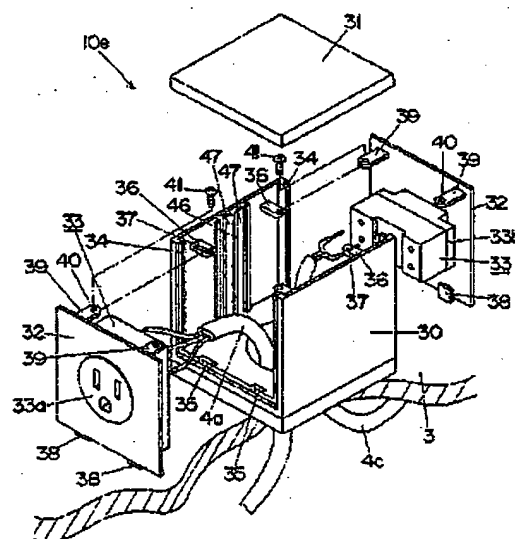
ンセントの一例を示す斜視図、第12図(a)(b)は同上に使用する伸縮自在なボール型コンセントを示す斜視図、第13図は同上に使用する隠蔽式ラインコンセントを示す斜視図、第14図は同上の使用形態を示す斜視図、第15図は同上に使用するフロアコンセントの分解斜視図、第16図乃至第18図は同上のプラグを差し込む場合の説明図、第19図は同上の取付状態を示す断面図、第20図は同上のコード止の部の分解斜視図、第21図は同上の断面図、第22図は同上の斜視図、第23図は同上の断面図、第24図は同上のコード止の部の他の実施例を示す斜視図、第25図は同上の要部断面図、第26図は同上の化粧プレートの取付状態を示す分解斜視図、第27図は同上の化粧プレートの他の実施例の分解斜視図、第28図乃至第32図は他のフロアコンセントの例を示す斜視図、第33図は従来例を示す斜視図である。

1は基礎床、3は床パネル、4はケーブル、10aはフロアコンセント、20は器具本体、31はカバープレート、32は取付プレート、33は

コンセントユニットである。

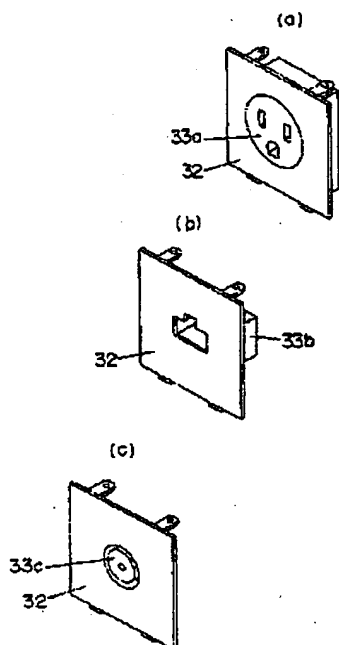
代理人 弁理士 石 田 英 七

第1図

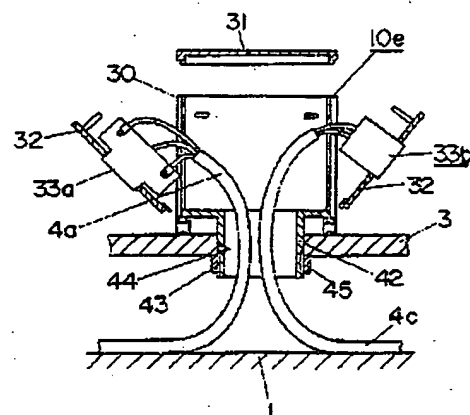


特開昭62-107620 (Θ)

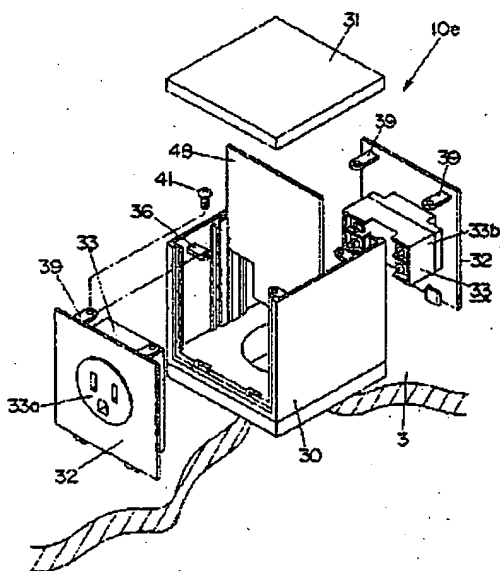
第2図



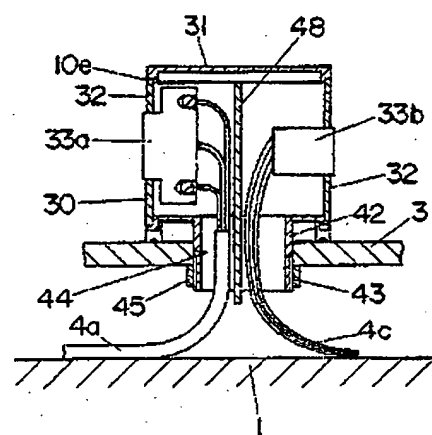
第3図



第4図

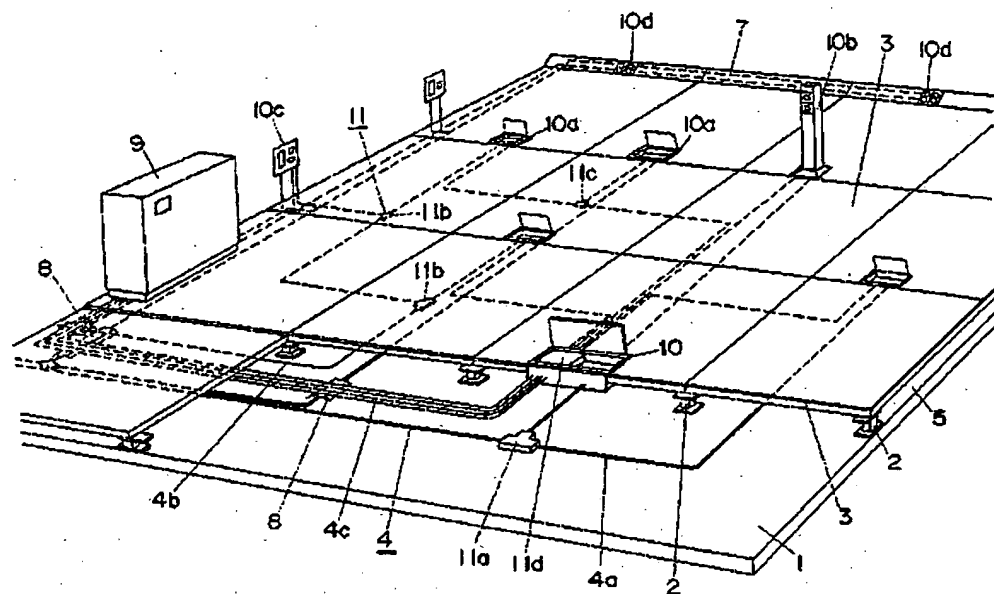


第5図

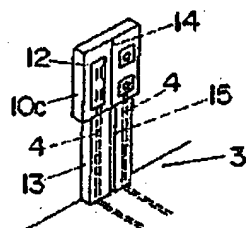


特開昭62-107620 (10)

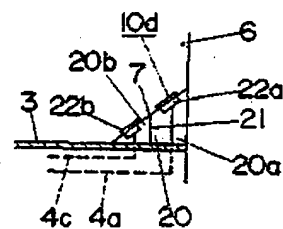
第6図



第7図

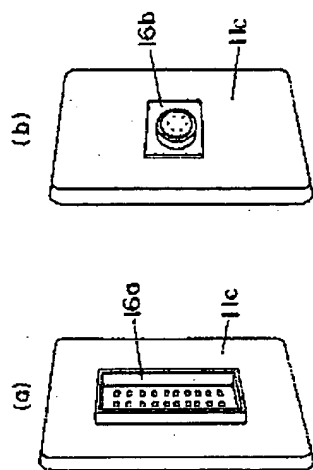


第10図

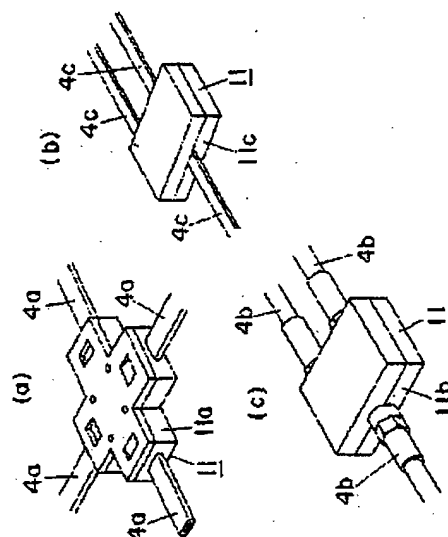


特開昭62-107620 (11)

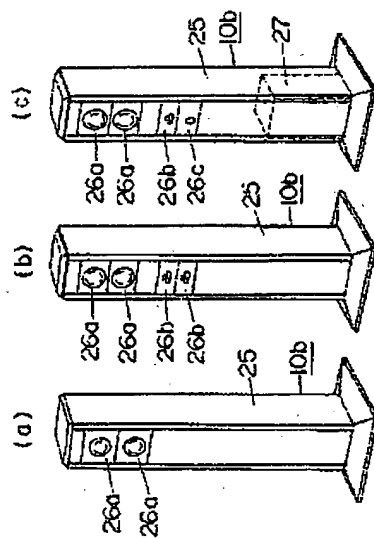
第8図



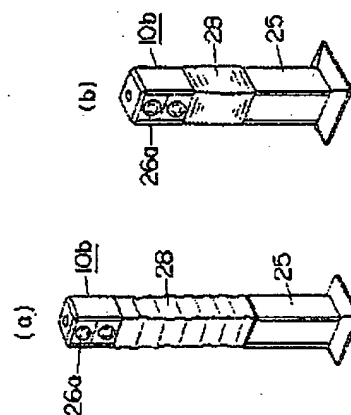
第9図



第11図

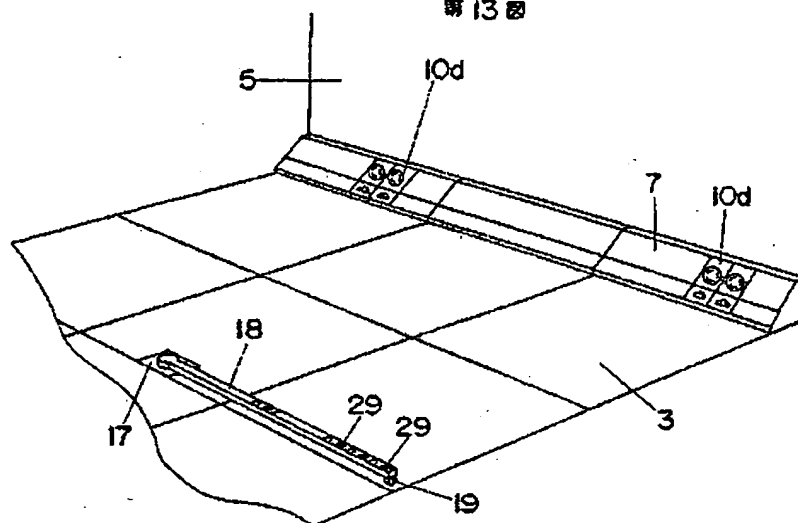


第12図



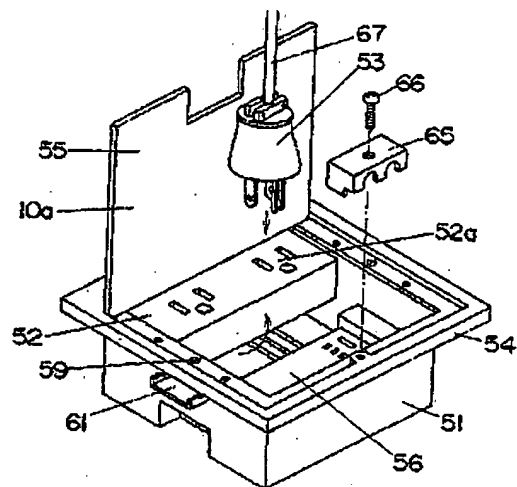
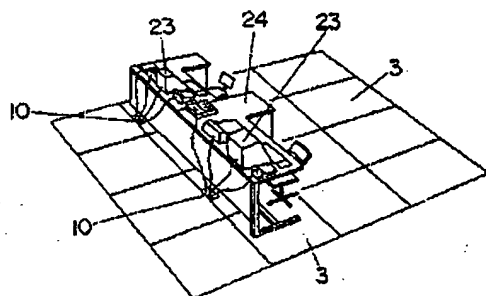
特開昭62-107620 (12)

第13図

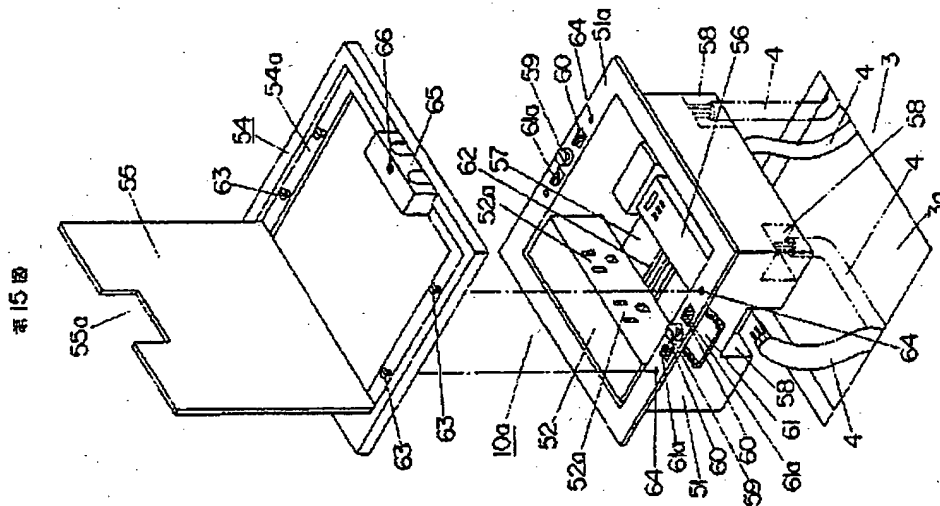


第16図

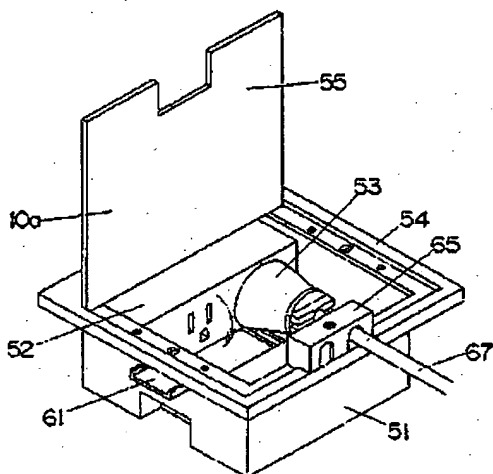
第14図



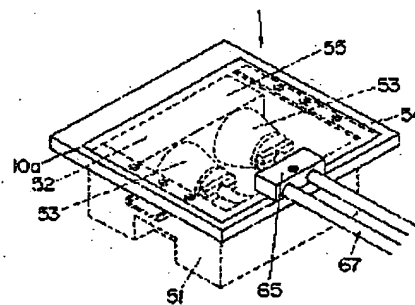
特開昭62-107620 (13)



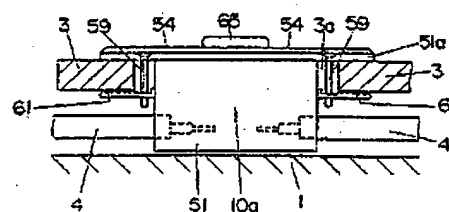
第17図



第18図

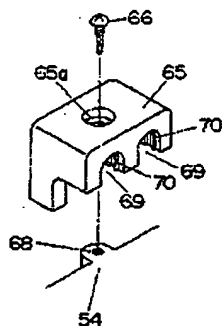


第19図

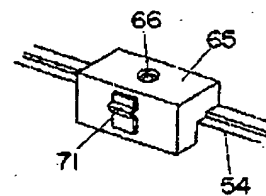


特開明82-107620 (14)

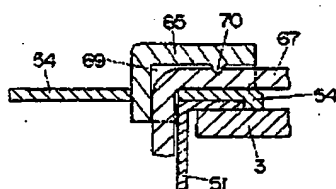
第20図



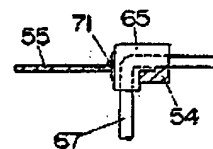
第22図



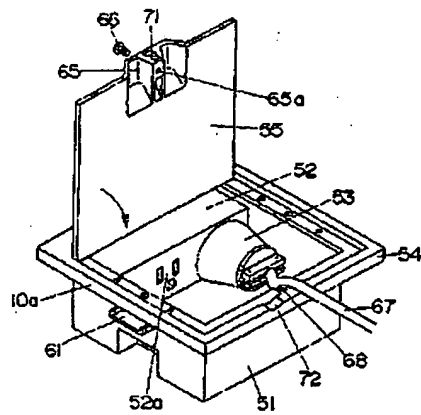
第21図



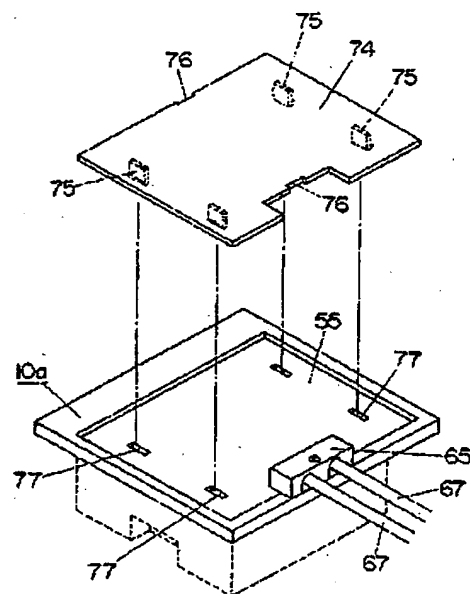
第23図



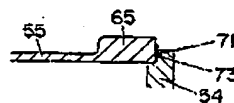
第24図



第26図

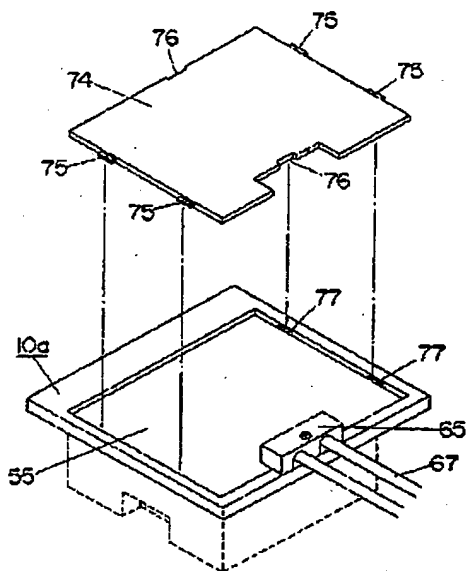


第25図

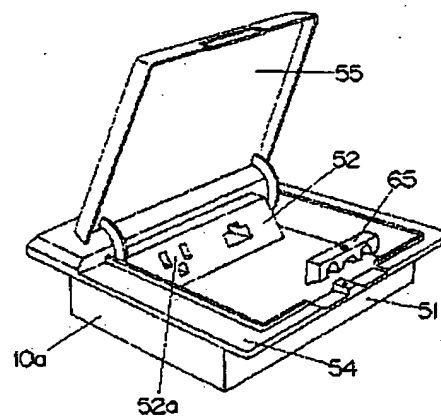


特開昭 62-107620 (15)

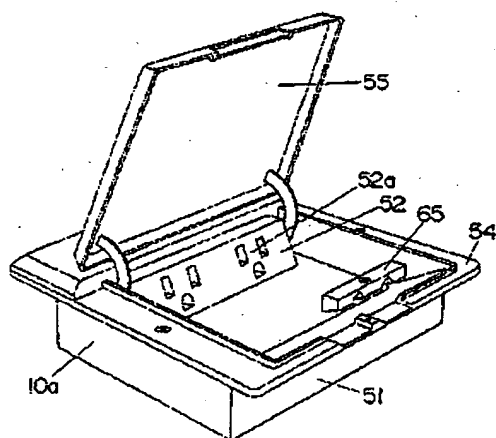
第27図



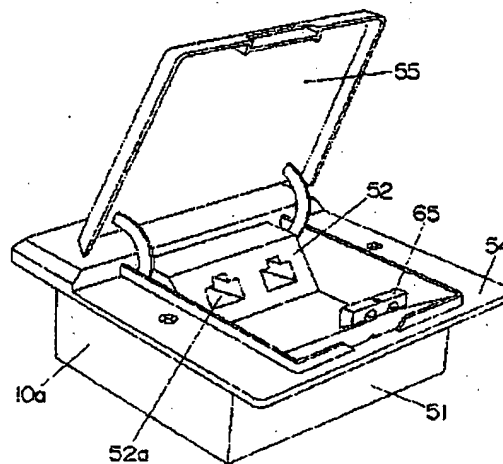
第28図



第29図

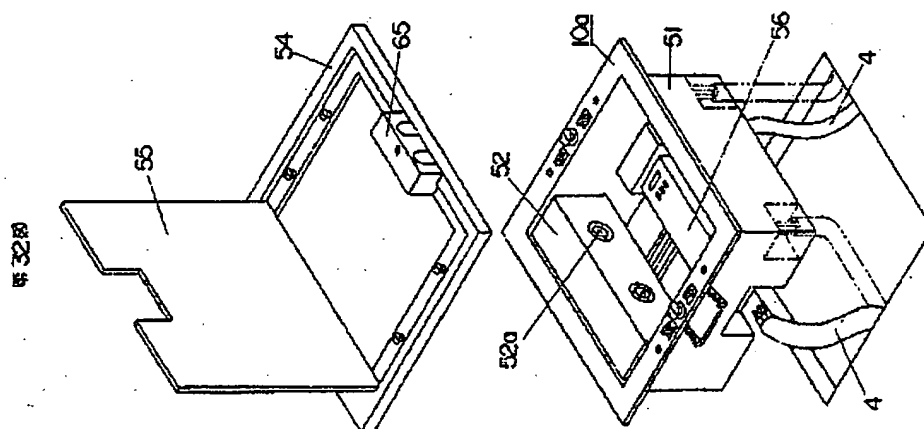
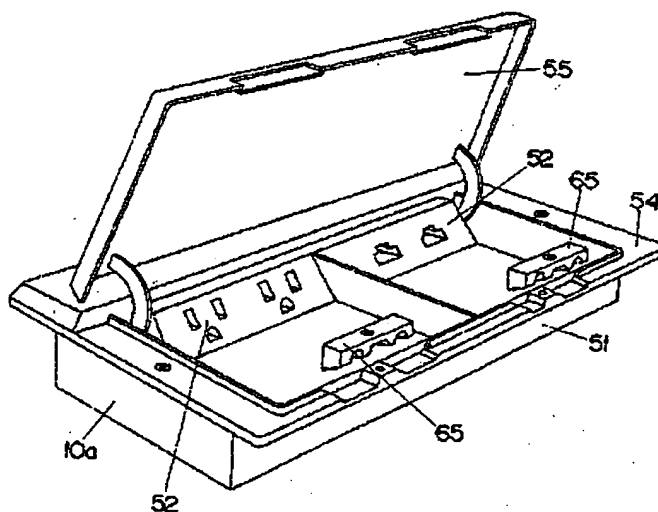


第30図



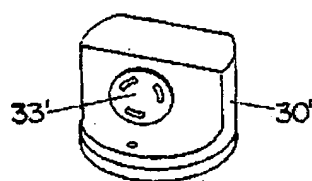
特開昭62-107620 (16)

第31図



特開昭62-107620 (17)

第33図



**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ BLACK BORDERS
- ☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- ☒ FADED TEXT OR DRAWING
- ☒ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
- ☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
- ☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
- ☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
- ☒ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
- ☒ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
- ☐ OTHER: _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.